

實性寺 袞千家茶道

5

月 稽古

令和元年

聰松軒

Choshouken



初風炉

【風炉灰おさえ】

【初炭】

【運び香合】

【濃茶】

【唐物】

【薄茶】

【掛物】

【花入】

【花】

「薰風」画讚 即中斎宗匠

唐銅鶴首

宮島籠

「箱根空木」「董袋」「甘茶」「縞芦」

「しょう麻」「紫蘭」「大山蓮華」「鐵仙」

了々齋好 刷目

丸 五葉松蒔絵

風炉 鉄道安

敷瓦 織部瓦

瀬戸 一重口

「茶杓」 住服

赤「寿山」 宗心宗匠 小川裕希夫

萬古「引舟」 画讚 宗心宗匠

太玄老師 銘「ホトトギス」

菖蒲絵 永楽

菖蒲 中棗

真塗 竹引切

唐金 エフゴ

緑釉 松葉 松孤軒好

【菓子器】

菓子

干菓子

濃茶

薄茶

而妙齋好「珠の白」

柳桜園



初風炉



丸
一文字

【灰おさえ】

極力ソフトに

一文字

正面より客付に振つてつくる

◆遠山ウロコ灰
なによりも根気よく灰を擦り上
質なウロコ灰を作る

◆下座の五徳の中央に峰を通しひ
づみを作る



遠山ウロコ灰

◆運びの香合
◆男女の違い
◆釜の引く位置に注意



遠山ウロコ灰

【初炭】

男女の違い

◆運び点前(広間)での両器 中仕舞

◆運びの違い

【濃茶】

【薄茶】

◆運び点前(広間)での両器 中仕舞

【干菓子器】

菓子

「三保の浦」「菖蒲饅」「なすび餅」

「井出の里」とらや製

「菖蒲」「水」「ホトトギス」伊織製

「干菓子」

四方 菓文様



四方 菓文様